



2022年11月14日

各位

会社名 日本精蠟株式会社
代表者名 代表取締役社長
社長執行役員 今野 卓也
(コード番号 5010 東証スタンダード)
問合せ先 上席執行役員 伊藤 宜広
(TEL 03-3538-3061)

2022年12月期通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は2022年11月14日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年8月15日に公表いたしました2022年12月期の通期業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想値の修正

(2022年1月1日～2022年12月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 43,000	百万円 710	百万円 590	百万円 490	円 銭 24.81
今回修正予想 (B)	39,000	△1,600	△1,700	△1,800	△91.14
増減額 (B-A)	△4,000	△2,310	△2,290	△2,290	—
増減率 (%)	△9.3	—	—	—	—
(ご参考) 前期連結実績 (2021年12月期通期)	27,918	587	467	444	22.50

(修正の理由)

当社グループ損益に影響する石油価格は、指標となる原油価格が当初予想のUS\$70/bblからUS\$100/bbl程度に、石油製品価格(軽油)が当初予想のUS\$80/bblからUS\$140/bbl程度に上昇しております。さらに為替レートも当初予想の110円/US\$から140円/US\$台後半に円安が進行していること等により、当社グループの下期原材料価格は、当初計画比大幅に高い水準で推移する見込みとなりました。一方、売上高については、原油価格高騰と円安の急激な進行に伴う原材料価格の上昇をカバーすべく、国内外ワックス及び重油の販売価格の是正に注力し、国内市場においては一定の成果をみたものの、海外市場においては、世界的な消費減退の影響を受け販売量が大幅に減少するとともに、競合他社の輸出再開による供給過剰に起因して販売価格が急激に低下し、これによりワックス輸出において当初計画比で売上の大幅な減少及び多額の損失が見込まれることとなりました。

その結果、2022年8月15日公表の業績予想との大幅な差異が生じました。

2. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	－	2円50銭	5円00銭
今回修正予想	－	0円00銭	2円50銭
当期実績	2円50銭	－	－
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期通期)	0円00銭	2円50銭	2円50銭

(修正の理由)

当社は長期にわたる安定配当を継続して実施することに加え、財務体質の改善と将来の事業展開に備えるべく内部留保の充実を図ることを基本としております。

しかしながら、今期は下期に大幅な損失を計上する見込みとなりましたことから、誠に遺憾ながら期末配当の予想を無配とさせていただきます。

株主の皆さまには深くお詫び申し上げます。現在、早期の業績回復に向けて「中期計画 21-24」の見直しを行っております。まとも次第開示させていただきますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

以上